

公表: 令和6年3月25日

事業所名 とらい

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		広さも90m2以上あり、解放された空間でリミック等行うのに十分なスペースがある	
	②	職員の配置数は適切であるか		○		基準を満たしている	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		バリアフリー化している	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日の清掃、玩具などの消毒・換気を行っている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		引継ぎノートを利用して周知している	定期的に会議等を行っている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施しており課題を共有している	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			2019/03からホームページで公開している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部、外部研修を年に数回行っている	
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			最低でも半年に一度は見直し、支援計画を作成している	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントツールを利用している	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		具体的な内容になるように努めている	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			個別支援計画に沿って支援を行うようにしている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			意見交換を行い活動内容を決めている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		日々の集団活動、季節行事や、地域施設の活用など様々なプログラムを行っている	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				個別の課題や、集団活動の両方を組み合わせ計画を作っていく
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			ミーティング時に活動内容や支援内容を確認している	できるだけミーティングを行うようにし、引継ぎノート等を活用して確認をしていく
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援経過記録表を記入し、その都度支援方法を職員で確認しあっている	できるだけミーティングを行うようにし、引継ぎノート等を活用して共有していく
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		支援会議時に役立てている	記録の記入法について統一していきたい
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○		半年ごとに計画の見直しを行い変更点があれば職員で話し合い確認している	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者・児童発達管理責任者・指導員で参加している	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			保健センターや子育て支援と情報共有をしている	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			医療機関との連携はあるが、現在対象者なし	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			医療機関との連携はあるが、現在対象者なし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			連携はできている	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			連携はできている	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			登別市児童発達支援センター及び関連機関と連携し、助言を受けている	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		機会があれば行いたい

	⑳	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		参加している	
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		送迎時や連絡ノートなどで日ごろの子供の様子を伝えている	
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		子どもの様子を共有する中で相談を受け、必要時には面談も行っている	事業所での取り組み方などの支援方法を知って理解していただけるよう伝えていく
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		主に契約時に説明している	法改正等での変更なども説明していく
	㉔	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○		児童発達支援計画の同意を得ている	
	㉕	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			特に送迎時に話を聞いたり連絡ノートなどで悩みを聞き助言を行っている	必要に応じて面談等を行っていく
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		検討中
	㉗	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談、申し入れ等については迅速に対応している	
	㉘	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		日々の様子や活動をブログでも発信している	活動概要、連絡体制などを積極的に発信できるよう検討していきたい
	㉙	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			雇用契約時に必ず個人情報守秘義務契約を結び注意している	
	㉚	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じ絵カードや文字ジェスチャーなどで情報を伝達している	
	㉛	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		町内会に加入し、地域交流している	地域に根差した事業所になれるよう取り組んでいきたい
	非常時等の対応	㉜	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		マニュアル策定、訓練している
㉝		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回行っている	その都度確認をしながら訓練を見直していく
㉞		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			初回アセスメント時に確認している	服薬変更や予防接種等についてはその都度保護者に確認しながら連携をしていく

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			保護者を介してもらっており、対応しています。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を作成して全職員で共有しています。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員研修や虐待防止のオンライン研修等に参加をしている。	職員の意識向上を図っていく
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		生命安全保障のため保護者に説明して記載している	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表: 令和6年3月25日

事業所名 とらい

保護者等数(児童数) 11

回収数 8

割合 72.7%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	1	0	1		・一緒に行って見ているわけではないので正直わかりません。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0	2		・行っていないのでわかりません。一度見学する機会があったらいいかなと思います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	0	0	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	0	1		
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7	0	0	2		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	1	0	1		・現在の発達に合わせた具体的な計画を立てていただいています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	1	0	1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	0	2	3		
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	6	0	1	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	5	0	2	1		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができてきているか	8	0	0	0		・送迎の際、活動時の様子を詳しく教えていただいています。

	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	0	2	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	2	5		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	1	0	1		・急な予定の変更や家庭の事情にもあたたかく対応して下さいます
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	2	1	1		・ホームページでイベント時の様子など、楽しく拝見させていただきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8	0	0	0		
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2	0	1	5		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	0	0	6		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	8	0	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	8	0	0	0		・いつもお世話になり、感謝しています。ありがとうございます。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。